

本を選ぶ



高校図書館版



NO.76 2023年(令和5年)11月20日
<https://www.las2005.com>

●発行/ライブラリー・アド・サービス
〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643

●●●●●ろん・ぼわん●●●●●

クソみたいな世界で抗うために

市川 恵里

パンクと聞いて私が思い浮かべるのは、セックス・ピストルズや映画『シド・アンド・ナンシー』——既存の体制や権威に対する過激な反逆のイメージだ。

小野寺伝助『クソみたいな世界で抗うためのパンクの読書』（地下 BOOKS / 2023年）は、「パンク的な書物を通じてパンクを考える」をテーマにした書評集で、2018年刊行の『クソみたいな世界を生き抜くためのパンクの読書』（地下 BOOKS）の続編である。ここでいうパンクとは音楽ジャンルとしての狭義のパンクというより、反体制、反差別、反戦、DIY精神、個人の自由を追求し、あらゆる抑圧に抗うパンク精神そのもののことだ。

本書では、UNITY:「共に在ること」で抗う / DIY:「自分自身」で抗う / ANTI RACISM:「知識」で抗う / NO WAR:「言葉」で抗う / NO FUTURE:「いまここ」で抗う / REVOLUTION:「世界を変える」で抗うという6章に分けて、31冊の本を紹介している。金子文子『何が私をこうさせたか』、小田実『何でも見てやろう』、ハリエット・アン・ジェイコブズ『あ

る奴隷少女に起こった出来事』、アーザル・ナフィシー『テヘランでロリータを読む』、岡真理『ガザに地下鉄が走る日』、斎藤幸平『人新世の「資本論」』など、パンクのきいた良書が多い。

人が人を搾取し、虐げ、自由と希望と尊厳を奪いつづけているこのクソみたいな世界の中で、少しでも人を踏みにじらずに、人間らしく生きていく方法を悩みながら模索する著者の真摯な姿勢が本書全体を貫いている。著者にとっては、その指針となるのがパンクであったわけだが、パンクに興味のない読者にも、その問題意識は充分に共有できる。

これだけ経済格差が広がり、生活はますます苦しくなり、生きづらさを抱える人も増え、それは明らかに政治と社会の責任が大きいのに、むしろ自分の弱さを責めて沈黙してしまう人が多いのはなぜなのだろうか。そもそもどうしたらいいかわからないのかもしれない。日本の学校教育では決められたルールに黙って従うことばかり教えこまれ、不当な抑圧に抗うという発想自体があらかじめ奪われているかのようだ。抗うといっても、いきなり社会運動に飛びこむ必要はない。本を読み、知識を深め、自分の頭で考え、異なる文化や他者の人生を想像することも、クソみたいな世界で抗うための確かな第一歩なのだから。このパンクのブックガイドにはそのヒントが詰まっている。

なお本書の版元である地下 BOOKS は小さな出版レーベルなので、取り扱い書店は限られるが、ネット通販でも入手できる。

(いちかわ えり：翻訳者)

学校図書館は若者の情報リテラシーを鍛える場所に

内山 裕之

私は理科教育、特に生物、自然教育に長年、携わってきました。そこで、理科関係の本をいくらか読むことができました。読んだ本の何冊かは学校図書館にあったもので、活用させていただき、実にありがたいと思っています。大学教員引退後、今、講師として三田祥雲館サイエンス・スクール高校で勤務しています。高校では生徒の研究の支援、生物の授業担当としてお世話になっています。そのような大学や高校を経験した理科教員としての立場で学校図書館について、私の考えを述べたいと思います。

1 本の時代固有性

生物を学び教える仕事をしていたせいで、かつて若者に影響を与えた良本の唱える素晴らしい考えも、時代の変化に伴って、それはおかしい考えだと否定される事例をいろいろ見てきました。例えば、ニホンジカやクマ、イノシシなどの野生動物は明治から昭和初期の時代に狩猟によって絶滅に瀕していました。多くの県で実際に姿を消しました。そのような絶滅が危惧された時代は、餌付けに対して寛容で、動物とのふれあいの大切さを唱えた本が人気を得ました。私の近くにある六甲山でもイノシシの餌付けが行われ、住宅地の目と鼻の先にイノシシがいました。それを不自然だと唱える人は、そう多くなく、イノシシが間近に見られることを自慢していました。兵庫県ではニホンジカやツキノワグマに対しても同様でした。野生動物の狩猟などはけしからんと言った時代で、ハンターの数も激減していきました。しかし、近年、状況が変わり、これらの野生動物の頭数をどんどん増え、人との様々な軋轢が起こってきました。私の住む兵庫県でもニホンジカが増えすぎて貴重な林床の植物や農作物が大きな被害を受けています。六甲山でイノシシが増えすぎ、神戸の町でイノシシが人の持つ買い物袋を奪ったり、噛みついたりするという被害が起こっています。東北地方ではクマに襲われ、亡くなったり大けがをしたりする人が出るなど、最悪な事態が頻繁に起こっ

ています。このような状況では、餌付けに対する寛容さはなくなり、狩猟に否定的な考えを持つ人の数は減っています。

農家の人にとってこのツキノワグマやニホンジカが増えすぎた状況は死活問題です。怖くて山に入れない、農作物が食べられて生産量が激減するからです。いきなり遭遇した野生動物から身を守る撃退(わなや鉄砲による狩猟、催涙スプレーや防音ブザー)方法、餌付けではなく農作物を野生動物から守る方法や道具が書かれている本が良本となります。

古い時代に著された餌付けして野生動物と触れあおうという趣旨の本を図書館においていても、裏山に何百頭というニホンジカがうようよいて、毎夜畑に出没し農作物に被害を与えているとしたら、そんな本は全く見当違い、無意味な本になるわけです。

つまり本は時代によって内容や求められる考えが変わるのです。時間が立つと賞味期限が切れる食べ物のような特徴を持っているのです。

理科の中でも生物学は日進月歩で発展しています。DNAに関する遺伝子工学の成果が教科書に盛り込まれ、10年前の古い教科書の記述が間違いであったり、重要でなくなったりしています。だから学校図書館が本をたくさん所蔵していることを自慢しても、古い本ばかりでは、意味がありません。

ただ、いつの時代になっても長く共感される素晴らしい本はあります。しかし、多くの本は賞味期限があり、時代と共に有用性が薄れることを生徒に伝えることは重要です。だから、私は生徒に、本の中身は書かれた時代の影響を受けていることを伝えていきます。本の持つ価値はその時代に固有なもので、時代が変わればその価値は変わることも伝えていきます。

このような考えを伝える理由は、生徒に読む本がいつ書かれたものか、どのような時代背景で書かれたものかを意識して読んでほしいからです。そうすることで、本をより深く理解することができます。

例 1. 与謝野晶子「君死にたもう事なかれ」の作

品を時代背景から読むと彼女のすごさが理解できません。戦争中で戦争を批判できない時代、女性が恋をあからさまに歌えない時代、女性が男のように働かない時代、そんな時代の常識を超えた生き方をする彼女、その作品だったからこそ、今の時代に通用する名作だと深く共感されるわけです。

例 2. 科学論文は発表年月日をしっかり記述して参考・引用文献を書きます。発見・発明は時間の経過と共に積み重なっていくからです。参考・引用文献はより新しいものはないか、注意を払う必要があります。

2 本の両面性（悪い影響と良い影響）とクリティカル・シンキング

日本人の平均寿命がのびた現在、健康サプリメントのハウツー本が以前にも増して売られています。大学で食品科学に関する学部も増えています。食品安全、健康と食品に関する研究論文や書物も年々増えています。

例えば次のようなサプリメントの効用「A というサプリメントは毎日飲めば活力がわき、生活習慣病が改善され、いきいき生活できるようになります。その理由は〇〇だからです。1000人が試して飲んで、その効果が実証されています。」を歌った本があるとします。

このAというサプリメントに効果があるという本を読むと、筋道立てて論理的に書かれ（論理性）、1000人に飲んで効果は実証されていて（実証性）、1000人に効果があるとするならばいつ飲んでも、どこで飲んでも、誰が飲んでもうまくいったのだから再現性（客観性）があるな、だから買おうという気にさせられます。

このサプリメントAが発売から数年たちますと、色々な本やネットで効果に関する違った発信が出てきて、「あれ？」と思うことがあります。例えば、Aというサプリメントの効果に関する書物や論文ですが、大きく次の3つのタイプが出てきます。

1つ目は、Aというサプリメントは健康に非常に良く、生活習慣病が著しく改善される。

2つ目は、Aというサプリメントは生活習慣病を改善させるという効果が見いだせない。

3つ目は、Aというサプリメントは体内で毒物に変化し、効果が無いどころか健康を害する。

さて、ここで気になることは、1つ目の生活習慣病が改善されるという論文の多くが、サプリメントAの製造元の研究者とか製造会社の御用研究者である場合が多く、2つ目や3つ目の場合、その製造会社と利害関係が無い研究者の論文か別の会社の研究者の論文である場合が多いということです。このことから何が言えるか、書物や論文は著者の何らかの思惑で書かれており、1000人に効果があったという実験データも改ざんの可能性があり、簡単に鵜呑みにしないことが重要だということです。

書物や研究論文は著者の思惑、①社会で役に立ちたいため、②金儲けのため、③何らかの組織に参加してほしいためなどの気持ちが行間にあるのです。

①の社会に役に立ちたいためという考えの本が圧倒的に多いため、私は落ち込んだとき、書物を読むことで、その考えに励まされ、くじけずに生きることができました。書物の著されている深い見方で人生を楽しく豊かにすることができました。ハウツー本のおかげで色々な物作りのスキルを学びました。これらは書物や論文を読むことの良い面です。この良い面は私にとって、悪い面より圧倒的に多かったと思います。しかし、書物や論文には巧みな文で人を洗脳したり、金儲けに利用したりする悪い面もあります。

本の両面性について学生に伝える理由はクリティカル・シンキングを持ち、著者の意図を考えながらしっかり読んでほしいからです。

3 生徒の抱える悩みに答える推薦図書・ネット情報コーナー

私のような学校教員の場合、生徒に本を読んでもらいたいと考える理由は、悩みや若者の様々な問題にぶつかったとき、本を読んで解決する糸口を見つけてほしいからです。

ネットを見ますとクローズアップされている若者の問題(大学生の場合が多いが)が色々あります。例を挙げますと、1. 若者の貧困問題、2. 友達に相談できず一人で問題を抱え込む若者の増加、3. 出会い系サイトのトラブル、→5頁につづく

『知りたい気持ちに火をつけろ！～探究学習は学校図書館におまかせ』

木下 通子

1 はじめに

長かった新型コロナウイルスの自粛期間がやっと明け、コロナ前のように人の行き来ができるようになりました。10月24、25日に開催された第25回図書館総合展では、私も「みちねコステーション」というブースを出展させていただき、全国から多くの学校司書のみなさんにご来場いただきました。

コロナ禍に学校にはICT化の波が押し寄せ、学習指導要領の改訂により、探究学習が本格的に始まりました。私が2017年に岩波ジュニア新書から出版した『読みたい心に火をつけろ！～学校図書館大活用術』は「読む」ことに焦点をあてて、学校図書館の活動を紹介した本ですが、今回ご紹介する『知りたい気持ちに火をつけろ！』は、まさに「探究学習」について学校図書館に専門の司書がいたらどんな支援ができるかをまとめた本です。

2 内容のご紹介

現在、私が勤務している埼玉県立浦和第一女子高校は、スーパーサイエンスハイスクール、スーパーグローバルハイスクールの指定校として、以前から探究学習に力をいれて取り組んでいましたが、私が着任した当時の図書館は学習室的要素が強く、利用も課題の本を貸すのが中心で、司書が積極的に授業に関わるサポートはできていませんでした。学校図書館は授業で活用されてこそ生きると考えていたので、教員に積極的に資料提供をし、アプローチしていました。また、新型コロナウイルスの感染拡大で、学校のDX化が一気に進み、本校図書館もその波にうまく乗ることができました。

この本の第一章では、文科省が2016年に定めた学校図書館ガイドラインをもとに、「学校図書

館ってなんだろう」ということを浦和一女の図書館サービスを元で紹介しました。第二章「探究学習は学校図書館から」では、私が転勤してどのように探究学習支援に関わっていったか、実際にいま、どんな連携をしているかを紹介しました。第三章「学校司書が活躍！授業との連携」では、図書館が主体的に行っている「点検読書」「まわし読み新聞」「ビブリオバトル」のやり方を紹介しました。第四章「コロナ禍で進んだ学校図書館のDX化」では、新型コロナウイルス感染での臨時休校時の図書館活動と、その後一気に進んだ電子書籍の導入や蔵書検索サイトのクラウド化のことを紹介しました。最後の第五章では、学校の活動から離れて、学校司書&社会教育士として地域とつながって行っている活動を紹介しました。



3 つながっていきましょう

今年は学校図書館法制定70周年の節目の年です。が、校内でそのことを知っている人はどれくらいいるでしょう？

学校図書館の館長は校長ですが、みなさんの学校の校長先生はどれくらい自校の学校司書の仕事や学校図書館の現状をご存じですか？

非正規の学校司書は言われたことだけやっていればいいという風潮があると聞きます。もし、「〇〇さんがこの仕事をするの？」と聞かれたら、ぜひ、この本を使って自分の仕事を説明してください。

埼玉県立高校では職員会議資料もペーパーレス化されたので、学校司書にも業務用パソコンやタブレットが支給されるようになりました。

が、自治体によっては、司書がデジタル機器を支給されないという話も聞きます。デジタル機器の使用は業務に不可欠であると、自治体に要求していきましょう。

要求したからには使いこなせなければなりません。私もICTは苦手なのですが、見よう見まねでGoogleサービスを使えるようになってきました。Googleの勉強は全国の司書が集まって、「学校図書館Googleコミュニティ」を立ち上げ活動しています。無料の勉強会を定期的に行っているため、ぜひ、参加してください。

また、私は非正規の学校司書さんの活動を支援したいと考えて、自分のサイトを作っています。

→ [みちねこサイト](http://michiko-site.com) (google.com)

そして、学習会のお知らせや講演会のご案内をメールマガジンの形で月に一回配信しています。メールマガジンに、ぜひ、ご登録ください。

一昨年からはYouTube「[みちねこラジオ](http://michiko-radio.com)」

には学校図書館関係者でない方にご出演いただいています。私たち学校司書も、書店や公共図書館、教育全体についての情報収集をし、仕事に活かしていかなくはなりません。SNSが身近になって、全国各地、どこの人も簡単に繋がれるようになりました。その強みを活かして、これからも情報発信をしていきたいと思います。

どの学校にも図書館に司書がいて、子どもたちが同じサービスを受けられるように。子どもの権利を守るために。みんなでつながって、勉強していきましょう。

(きのした みちこ：埼玉県立浦和第一女子高等学校 司書)

* 3 頁から *

4. 強制アルバイト学業疎か、5. 闇バイト(犯罪の実行犯) などは。大学や高校の授業では取り扱わない問題がたくさんあります。

このような問題に直面した若者が、図書館司書や学校教員に相談してくれれば、それが一番良いですが、あまり相談には来てくれません。長期欠席などによって退学・休学などの大きな問題になってから、保護者も含めて進路について相談する場合は殆どだとも思います。従って、1 ならば奨学金制度の情報、2 ならば悩みを乗り越える図書、3、4、5

ならばトラブルの実態や防止・解決方法などを示した図書やネットの情報があるコーナーを学校図書館内に設置すべきだと考えます。最新の考えとなると本だけでなくネットの情報も検索できることが、これからの学校図書館では必須と考えます。

学校図書館に行けば、他人に干渉されず、一人で情報を見る場所があり、そこで何らかの問題に対する指針がもらえるというこれからの図書館では重要でないでしょうか。(うちやま ひろゆき：元姫路大学教授／兵庫県立三田祥雲館高等学校非常勤講師【[内山裕之自然探検・発見・ほっとけん](http://uchiyama-hiroyuki.com)】)

DMかたるく

藤村 靖之 非電化工房

地球の冷やし方

ぼくたちに愉しくできること



地球を冷やし、思考をアップデートする、エネルギー・食・生活など9カテゴリー77のアイデア。安価でできて幸福度が上がる、あたらしいライフスタイルの提案。本文オールカラー。

2860円

晶文社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
Tel 03-3518-4940 <https://www.shobunsha.co.jp/>

君のクイズ

クイズプレーヤーの思考と世界がまるごと体験できる

生放送のテレビ番組決勝戦に出場した三島玲央は、対戦相手・本庄絆が、まだ一文字も問題が読まれぬうちに回答し正解し、優勝を果たすという不可解な事態をいぶかしむ。いったいなぜ、彼は正答できたのか？



2023年本屋大賞ノミネート

著：小川 哲
定価1,540円(本体1,400円+税10%)
NDC913 / 四六判 / 192頁 / ISBN978-4-02-251837-8

朝日新聞出版

台風や水害、地震や火山活動は
なぜ日本に多いのか？
自然災害が起きる理由を
「地理学」の視点から解説！



〇〇〇〇
〇〇〇〇
〇〇〇〇

長谷川直子
鈴木 康弘 編
定価2,420円(税込)

2023年9月発行 A5判 並製 224頁 ISBN:978-4-634-59204-9 C0025

山川出版社 〒101-0047 東京都千代田区内神田 1-13-13
TEL 03-3293-8131 FAX 03-3292-6469 <https://www.yamakawa.co.jp/>

日本災害復興学会 編

災害復興学
事典

日本災害復興学会 編

ハード・ソフト面の双方から災害復興について考える。
「復興とは何か」「支援の方向性」といった多様な見解が見られるテーマも取り扱う。

A5版 304頁
定価 6,930円(本体 6,300円)
ISBN978-4-254-50036-3

朝倉書店 東京都新宿区新小川町 6-29
T162-8707 TEL03-3260-7631

アメリカ歴史地図

先史時代から現在まで、
豊富なビジュアルと平明な解説、
そして意欲的な観点によって、
アメリカ史を立体的に
アップデート！

この一冊で網羅！

貴堂嘉之
日本語監修
一橋大学社会学部・大学院社会学研究科教授

地図・写真・図版 400点以上！
定価6,380円(税込)

詳しい内容はこちらから

東京書籍

知りたいと思い、
どこまでも問い続けよう。
疑う、知る、考える
哲学をはじめめる

青柳雅文 著

哲学は「どこまでも問い続けること」です。いままぐ哲学をはじめましょう。本当だろうか、なぜだろうかと問い続けましょう。トビラを開けて。目の前にあるケーキは「本当にケーキ？」と。

四六判美装カバー242頁 2750円

ミネルヴァ書房 京都市山科区日ノ岡堤谷町 1
TEL075-581-0296 ※価格税込

地球研叢書

総合地球環境学研究所の
研究・成果を分かりやすく伝え、
人と地球の未来を考えるシリーズ



現在 26 巻刊行、ぜひお揃えください！
定価：各 2310 円～ 3080 円(分売可)

昭和堂 〒607-8949
京都市山科区日ノ岡堤谷町 3-1
TEL075-502-7500 ※価格 10%税込

株式会社 三善

PENGUIN社の多読教材
PENGUIN READERS

人気の古典・フィクション・ノンフィクションタイトルを
英語学習者向けにレベリングしたリーダー 全8レベル

セット販売 ① 60冊 SET A
② 60冊 SET B **NEW**
税込 各 ¥62,700 (本体各 ¥57,000)



Miyoshi 〒167-0032 東京都杉並区天沼 2-2-3
TEL:03-3398-9163 FAX:03-3398-9170